



平成 16 年 8 月 24 日

各 位

会 社 名	株式会社 幸 楽 苑
代表者の役職名	取締役社長 長谷川 利弘
(東証第一部	コード番号 <u>7 5 5 4</u>)
問 い 合 わ せ 先	執 行 役 員
	社 長 室 長 室 井 一 訓
T E L	0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1
	http://www.kourakuen.co.jp/

中・長期経営計画に関するお知らせ

当社グループは、平成 16 年 8 月 24 日開催の当社取締役会において、2006 年 3 月期（平成 18 年 3 月期）を初年度とする「中・長期経営計画」を決議いたしましたので、その概要につき下記のとおりお知らせ申し上げます。

記

1．長期経営計画（2006 年 3 月期～2015 年 3 月期）

(1) 経営方針

当社及び当社企業グループの経営方針は、外食産業のチェーンストアとして多店舗化を推進することにより、経済民主主義の実現を目指すことであります。

我々の働きで、我々の生活をより豊かにし、より良い、より豊かな社会をつくることに貢献する。より多くの人々の生活向上や、より豊かな社会が善であるとする社会観をもつ。

「経済民主主義」とは、チェーンストア経営によって実現される国民の消費生活のあるべき状態のことです。低価格化を推し進めていくこと等により、大多数の国民が毎日楽しめるような経済の仕組みにしていくことです。20 世紀前半にアメリカのチェーンストアが作り出した状況を示すものであります。

そして、経営理念においては、

- ・より多くの人々の、よりふだんの食の場面に、よりおいしい味で、より低い価格の商品を、より速いスピードで提供することに私達は喜びをもちとう。

- ・働く人達が、やりがいと生涯設計の持てる会社にしよう。

と経済民主主義を高らかに謳い上げており、日々の事業活動におきましてその実現を目指しております。

(2) 事業展開方針

チェーンストアシステムを目指し、直営店舗を基本とした多店舗展開を推進する。

集中出店によりドミナント・エリアを確立する。

コミッサーリーによる食材の自社生産体制を確立し、内製化比率を向上させ、原価低減をはかる。高品質・低価格の商品を提供する。

「チェーンストアシステム」とは、飲食業あるいは小売業が、経済民主主義の実現を目的として行う経営システムのことです。本部と店舗（売場）との分業体制をとり、基本的なことはすべて本部が決定し、店舗は接客、コスト・コントロールなどにだけ専念します。標準化された店舗を 200 店舗以上必要として、これを運営していくことにより、消費者に対してマス・メリットを提供することが可能となる経営システムのことです。

「ドミナント・エリア」とは、自社の店舗の商圏が互いに隣接するように集中出店しており、商圏内の客が圧倒的に支持してくれる地域のことであります。当社及び当社企業グループの経営方針は、外食産業のチェーンストアとして多店舗化を推進することにより、経済民主主義の実現を目指すことであります。

(3) 長期経営計画のビジョン

フランチャイズ展開を図り2010年3月期 グループ1,000店舗体制を目指します。

2015年3月期 直営店1,000店舗体制を目指します。

2015年3月期 売上高1,400億円を目指します。

外食産業界において、売上高・経常利益・経常利益率・店舗数の上位10位以内を目指します。

幸楽苑ブランドの基盤を更に磐石にし、ラーメンを国民食として確固たるものにする為、自らの手でラーメン文化の創造を目指します。

日本のラーメン文化を国際的食文化に育て上げる為、海外進出の調査と実験に着手いたします。

お客様第一主義をより徹底し、常にお客様が望むものは何かを追究する社風づくりを目指します。

(4) 数値目標

【連結】

	2004年3月期実績	2005年3月期予想	2015年3月期目標
売上高(億円)	197	269	1,452
経常利益(億円)	18	23	219
当期純利益(億円)	8	10	105
経常利益率(%)	9.2	8.8	15.1
1株当たり利益(円)	56.6	63.5	658.4
期末店舗数(店舗)	204	284	1,631
(直営店)(店舗)	188	252	1,181
(FC店)(店舗)	16	32	450

【個別】

	2004年3月期実績	2005年3月期予想	2015年3月期目標
売上高(億円)	188	256	1,342
経常利益(億円)	18	24	204
当期純利益(億円)	9	11	100
経常利益率(%)	9.8	9.5	15.2
1株当たり利益(円)	59.9	72.0	624.5
期末店舗数(店舗)	197	273	1,500
(直営店)(店舗)	181	241	1,050
(FC店)(店舗)	16	32	450

2. 中期経営計画(2006年3月期~2010年3月期)

(1) スローガン

「チェーンストアの経営原則」の徹底・実行

原則重視の経営

足元重視(5ゲン主義)経営の推進

チェーンストアらしいマス・マーチャンダイジングのシステムづくり

マス・ストアーズ・オペレーションの追究

(2) 基本戦略10の課題

徹底したドミナント戦略の推進とスクラップ・アンド・ビルドの徹底・実行

品質内容・価格構造の徹底・追究

作業システムの標準化の徹底とローコスト・オペレーションの確立による人時生産性の向上

大量採用の仕組みづくりと期間教育の徹底・実行、積極的なスカウト戦略による組織改革の徹底・実行

コミッサリーの機能拡大、HACCPやISO取得による高品質管理システムの構築、「安全」「安心」の徹底・追究

労働環境の改善・充実の徹底

財務フレームの構築と安定した資金調達方法の推進

マス化への挑戦によるトータルコストダウンの徹底・実行

ロジスティクス(輸送・保管・集荷・補充システム)の効率化の徹底・追究
 乗りかえ業態の開発と既存業態の追究と確立

(3) 数値目標

【連結】

	2004年3月期実績	2005年3月期予想	2010年3月期目標
売上高(億円)	197	269	928
経常利益(億円)	18	23	109
当期純利益(億円)	8	10	51
経常利益率(%)	9.2	8.8	11.8
1株当たり利益(円)	56.6	63.5	322.0
期末店舗数(店舗)	204	284	1,056
(直営店)(店舗)	188	252	756
(F C店)(店舗)	16	32	300

【個別】

	2004年3月期実績	2005年3月期予想	2010年3月期目標
売上高(億円)	188	256	871
経常利益(億円)	18	24	100
当期純利益(億円)	9	11	48
経常利益率(%)	9.8	9.5	11.5
1株当たり利益(円)	59.9	72.0	304.7
期末店舗数(店舗)	197	273	1,000
(直営店)(店舗)	181	241	700
(F C店)(店舗)	16	32	300

(注) この中・長期経営計画は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
 実際の実績は、今後様々な要因により記載内容と異なる場合があります。

以上